



社会福祉法人 金亀会
障がい者支援施設

スマイル

笑顔の 12月号

おすそわけ



〒790-0047 愛媛県松山市余戸南6丁目5番3号
TEL (089) 965-0294 FAX (089) 965-0330
メールアドレス smilekun@blue.ocn.ne.jp
ホームページ <http://smile-power.jp>

入所 10月外出 買い物&ドライブ



お散歩がてら
セブンスターへ
お買い物!!

伊予市
しおさい公園へ
ドライブ!!



10月末の外出は晴れ(*^-^*)
気温 22度という暖かさ!紅葉の下
うとうと(-_-)zzz うっかりお昼寝
モードになりました!



★工作サークル



通所 10月の
工作サークルでは、12月に向
けて「クリスマスリース作
り」をしました。白色・茶色
のリースを選んでもらって、
松ぼっくり、リボン、ベルな
ど、クリスマスらしい飾りを
付けてリースを完成させまし

11月 行事食 寿司ランチ

11/1(水)、11/7(火)、
11/13(月)、11/24(金)
11/30(木)



11月に入り肌寒日が増え、冬がぐっと近づいてきましたね。給食でもやっと生ものを提供できるようになりました。11月の行事食は毎週曜日を変えて、握り寿司が出る「寿司ランチ」です。1回の食事に出る握り寿司は3個~5個と多くはありませんが、毎週の楽しみが一つでも増えてくれればと、厨房の日清医療食品さんも丹精込めて握ってくれました。お寿司と一緒に出てくるうどんやそば等の麺類も食べやすく美味しいと好評でした。(スマイル管理栄養士: 田村 恵理)



秋のスマイル句会

令和五年 十月 十三日

*まだ夏の名残が残る、秋らしからぬ句会となりました。

ただいまと言えはお帰り妻は桃 さくらももまる

観月に思い出すのは君の顔 黒田進一

惑星の考察広がるひつじ雲 はし子

かき氷保障は出来ぬが奥の手を メンソーレ

やきそばやおやつ楽しい夏祭り ゆみこ

初雪や富士まだかなもういつか 貞則

食欲の秋やあの頃懐かしむ 卵かけご飯

柿が美味しい実り多い秋の日 あゆゆ

家族が溶けた残り湯ぬるし 事務所藤原

三十七度以上ととてもしんどかったコロナ熱 しんきち

*次回、十二月の句会もお楽しみに。



河原医療福祉専門学校 介護福祉科 2年 実習生 (9/11~10/13) 感想文



今回初めての障害者施設での実習で、利用者の方とコミュニケーションを図ることが出来るか不安がありました。しかし、職員さんのご指導

や利用者さんから話しかけて頂きとても楽しくお話しすることができ楽しかったです。

コミュニケーション方法も多種多様で初めは利用者さんが何を伝えたいのかを汲み取ることができず申し訳ない気持ちがありましたが、毎日関わることによって、何を伝えたいのかを汲み取ることができるようになり、利用者さんとのお話が楽しみでした。

リフトの移乗介助では、初めてで戸惑うこともありましたが、回数を重ねるごとに身につけていくことが出来ました。また、利用者さんの身体状況に応じた介助方法も身につけることができ勉強になりました。

今回の実習で身につけた技術や知識を就職先に活かしていけるよう頑張っていきたいと思ひます。短い間でしたがありがとうございます。

斗巍下 美優



今回の実習を終えて、改めてコミュニケーションの大切さを実感することが出来ました。利用者によって

様々なコミュニケーション方法があることを学び、初めはなれないことも多く利用者が何を話しているのか聞き取りづらくて何度も聞き返してしまう事がありましたが、徐々にどんなことを話しているのか想像でき、分け隔てなく沢山の方とコミュニケーションを取ることが出来ました。

また、文字盤でコミュニケーションをとる方に対しては、指した文字があっているのか確認するために声に出して読み上げ、相手の表情を見ながらコミュニケーションを取ることが出来ました。そして、マスクで表情が見えないため声のトーンを意識しながら話すことも出来ました。

オセロでは、沢山の利用者の方と対戦する事が出来ました。結果、全て勝つことが出来ませんでした。オセロの勉強もしようと思ひます！

5週間ありがとうございました。

紺堂 光咲



私は今回初めて障害者の方と関わりコミュニケーション方法や支援についての技術、知識を学ぶことが出来ました。

コミュニケーションでは、文字盤やジェスチャーなどを使い表情から読み取ることが難しかったです。毎日たくさんの利用者様に話しかけ、少しずつ慣れていくことが出来ました。利用者様が話した言葉が、分からないこともありましたが、しかし、分からないままにするのではなく聞き直しこの言葉であっているか聞くことが出来ました。利用者様コミュニケーションを図ることで信頼関係を少しずつ築くことが出来たことを嬉しく思っています。

支援では、天井走行式リフトを使用した移乗方法や、二人介助で行う方法を学ぶことが出来ました。職員さんが実際に行っているのを見るだけではなく実際にやることで身につくことを改めて実感することが出来ました。また、利用者様一人一人の情報を理解し根拠を考えながら支援することの大切さが分かりました。

今回の実習でいただいたご助言を就職後等に活かしていきたいと思ひます。5週間ありがとうございました。

小林 千桜

～ 研修報告 ～

令和5年度 第27回 愛媛県身体障害者施設協議会 職員研修大会

10月20日(金)愛媛県身体障がい者福祉センター 10月21日(土)障害者支援施設かなさんどう

(通所支援スタッフ)



峯山 典

「利用者の方、職員にとって良い施設とは」について、他の施設の方との意見交換を交えながら考えました。その中で、利用者の方にとっても職員にとっても共通して良いと思われる意見は「人と人との関係が良いこと」という点でした。

まず、施設の雰囲気が大切だと考えました。利用者の方が施設で安心して過ごしていただくためには、職員の優しさ、相談できる職員がいる

という事です。また、職員間においても、仕事上の関係が良くなければ落ち着いて仕事に専念出来ません。気持ちよく「ありがとう」や「ごめんなさい」の挨拶ができ、良い所も直すべきところも言い合えるオープンな人間関係が、施設の雰囲気を決めるのだと思いました。

「施設内の雰囲気を良好に保つ」ために、私は『新しく入る方(利用者の方、職員の方)が過ごしやすいように誰にでも優しく明るく接する』という目標を立てました。

また、目標を実行し続ける為には、何度も理念に立ち返る事が大切だと学びました。自分の中の理念をしっかりと持ち、毎日の業務の中でこの目標を常に気にかけていきたいと思えます。

今回の研修では、色々な視点から物事を考え、自分の中になかった様々な考え方に気付く事が出来ました。

(入所支援スタッフ)



豊川 結生

1日目は「利用者にとって良い施設、職員にとって良い施設」について話し合いました。自分の意見では、利用者にとっては「外出の機会が多く、自分のペースで生活できる施設」が良い施設ではないかと考え、職員にとっては「カウンセラーが居て悩みを人に話せるような職場環境」が良いのではと考えました。他の方の意見では、利用者にとっては「居室のタイプが選べる」や「職員が優しい」、「地域の方々との関りが多い」などの意見が上がり、職員にとっては「研修などの外部での活動を通して少しずつ成長できる職場」や「業者によるサポートで業務分担の充実」などの意見が出ました。

しかし、利用者・職員どちらかを優先することは難しいことだと思いました。より良い施設にするには、利用者、職員の思いを大切に、話し合いをすれば、自分の考える良い施設に少しでも近づけられるのではないかと思います。2日目は愛媛プロレスの石鐘山太郎氏と鶴姫花氏がゲストでした。愛媛プロレスとの出会いや自分の目標、その目標に向けて行っていること等の話を聞かせて頂き、目標に向けて行動し続ける大切さを学びました。この研修を通して、様々な方々の考えを聞いて自分にはなかった考えもたくさんあり、とても勉強になりました。

～ 研修報告 ～

令和5年度 第47回 中・四国身体障害者施設職員研修大会(高知大会)

大会テーマ 「 私たちがやらなければならないこと、やれること、そして～やりたいこと 」

(入所支援スタッフ)



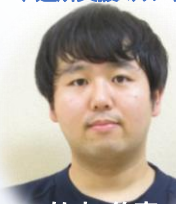
中矢 咲子

1日目の分科会では、ノーリフトに関する取り組みの発表を聞いた後、グループ内にて意見交換しました。他施設においては、ノーリフティングについて、なかなか浸透していないという現状もありました。リフト導入もその施設においてさまざまありますが、スタッフへの定期的な研修や外部からの講師を招いての研修・福祉機器の情報収集等、施設はそれぞれ違いますが今後の課題についてはどの施設も共通点があるなど思いました。

その中高知県は県自体がノーリフティングに積極的であること知りました。2日目の分科会では、その人らしい生活を支援するにはと、2件の事例を聞くことが出来ました。その利用者への個別支援計画に基づいて、多職種が協力し合い、情報を共有し合い、職員が皆同じ方向性を持って、時間をかけて支援を行ってきたことにより、利用者のしたい事ができる事になり、施設内での自分らしい生活を送ることができるようになったということでした。どの施設も利用者への課題は多々あり、日々施設内での取り組みや改善点について話し合い、より良い支援を目指しているなど再度認識しました。

今回の研修で、他施設での取り組みで参考になった事、明日からの支援で実行し、精進していきたいです。

(通所支援スタッフ)



竹本 悠真

初日は、アイルの『ノーリフトに関する取り組み』、2日目はニューライフ君田による『集団生活の中で、様々な特性を持つ利用者がその人らしい生活を支援するための工夫など』について発表・グループワークを行いました。

アイルの発表・グループワークでは、他県の施設職員とも話し合う機会があり、施設によってはリフトをまだ導入しておらず介助は人力で行っている所もありスマイルのノーリフティング

グケアは進んでいる事がわかりました。

ニューライフ君田の発表では、実際過ごされている利用者の方の事例を基に、利用者の方のニーズにどのような職種が、どのようにアプローチしていくことで結果がどう変わっていったのかという内容でした。PSBと呼ばれる運動補助器具のデモ機を使用するところから始め、PSBを使って自力で食事が出来るようになった利用者の方をみて、多職種の協働の重要性を知りました。

2日間を通して他施設ではどういった支援を行っているのか、どのようなリフトを導入しているのか等を知りたい機会になりました。

自分の施設以外の情報等も得る事ができ、今後の支援にも生かしていこうと思いました。



日野 遥さん



岡田真和さん



沖野あゆみさん



小笠原達也さん



新屋規子さん

チャレンジドえひめ 2024 カレンダー

えひめ洋紙株式会社制作した「チャレンジドえひめ 2024 カレンダー」が完成しました。このカレンダーは、昨年開催された「えひめの障がい者アート展2023」で入賞した作品を使用しています。カレンダーの収益金の一部は掲載作家に報酬として支払われ、社会における活躍の場を広げることも目的としています。6 月には沖野あゆみさんの「変わった猿」、8 月には池田輝夫さんの「青いスプリンターレノ」を使っていただきました。カレンダーは愛媛県美術館ミュージアムショップでも販売しています。



**新時代を生きぬく力!!
笑いヨガに挑戦しました!!**

(講師)
**認定笑いヨガティーチャー
金亀会理事 玉井 千恵 氏**

職員みんなで笑いヨガに挑戦しました。実は、玉井理事からはずっとお誘いいただいていたのですが、コロナ禍に突入し、今回やっとの開催となりました。笑いの力は偉大です。元気で長生きするには笑うことが大事!とよく耳にしますが、“フリ”でも笑っていれば脳は騙されて免疫力がアップするそうです。スマイルは「笑顔をつくる」を目標としていますので、笑いヨガでもらった元気で笑いを皆さんに還元できたらと思います。玉井理事のお人柄と笑いの力で、楽しい時間となりました。ありがとうございました。

〃 年末年始サービス提供日のお知らせ 〃

スマイル生活介護（通所）の休業は、年末は12月30日(土)から、年始は1月3日(水)まで となっております。1月4日(木)より通常営業致します。おかげさまでスマイルは、今年も健やかで穏やかな一年を過ごすことができました。来年もスマイルをよろしくお願いいたします。

12月の行事予定

- 1(金) 俳句サークル
- 2(土) 営業日
- 5(火) 祝い膳 / 入所：夜間想定避難訓練
- 6(水)・12(火) 入所：「外出(フジグラン松山)等」
- 16(土) 営業日
- 18(月) 通所：工作サークル
- 18(月)～22(金) ゆず湯
- 20(水) 行事食(クリスマス会特別メニュー) / クリスマス会
- 12/30(土)～1/3(水) 年末年始休業

**合同(入所・通所)のサークル活動を中止します。
散髪・ヘアカット(理容師・美容師の来所)は中止します。**

介護スタッフ募集中



お気軽に
お問い合わせください。
TEL
(089) 965-0294
担当：藤原 岳

～ご意見・ご要望受付に関するお知らせ～

利用者及びご家族の皆様からの施設に対するご意見・ご要望を受け付けております。今月より、お電話にて受付いたします。

担当者は (サービス管理責任者)：**福宮 沙也子**
(本部長)：**藤原 岳** です。
担当者まで、どうぞお気軽にご連絡ください。